

キャンパス / Campus	宇都宮キャンパス / UTSUNOMIYA
科目名 / Course Title	国際交流論 1 / International Communication 1
担当責任者 / Instructor	林 春
開講期 / Semester / Term	前期 / SPRING
履修年次 / Target Grade	1,2,3,4
単位数 / Credits	2.0
分野・必修選択別 / Category / Required or Elective	共通教育科目教養教育科目 社会科学系分野 選択 / Elective
科目ナンバー / Course Number	IHR1-03003

ディプロマポリシー、修得目標との関連 / Diploma Policy/Learning Outcome	要件所属・要件年月 / Course Name・Requested Month and Date	ディプロマポリシー、修得目標 / Diploma Policy/Learning Outcome	DP値 / DP Point
	経済学部地域経済学科(202204)	[A5] 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を活用して社会を多角的に説明する	1
		[B13] さまざまな文化に関する知識をもって各地域に共通する問題を解決するための提案ができる	1
	理工学部機械・精密システム工学科(202204)	[A1] 人文科学、社会科学、自然科学の幅広い知識から、人類や社会の福祉 増進について考察・判断することができる	1
		[D14] 異なる文化や伝統に関する知識をもって、多様な考え方を受け入れて判断することができる	1
	理工学部航空宇宙工学科(202204)	[A4] 人文科学、社会科学、自然科学に関する知識を習得し、専門的な活動に活用できる	1
		[A8] 航空宇宙分野の問題において、広い分野からの知識をもって問題を判断できる	1
	理工学部情報電子工学科(202204)	[A3] 多様な背景をもつ人々に対する理解や想像力を柔軟に育みにつけることができる	1
		[C10] 人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる	1
	理工学部バイオサイエンス学科(202204)	[A1] 専門的な知識にのみに偏らず、豊かな教養を身につけている（一般教養）	1
		[A4] あらゆる生命を大切にし、多様な生命との共存を意識して行動できる（生命倫理）	1
	医療技術学部柔道整復学科(202204)	[D20] 幅広い教養を通して柔道整復師の意義を理解できる	1
	経済学部地域経済学科(202304)	[A5] 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を活用して社会を多角的に説明する	1
		[B13] さまざまな文化に関する知識をもって各地域に共通する問題を解決するための提案ができる	1
	理工学部機械・精密システム工学科(202304)	[A1] 人文科学、社会科学、自然科学の幅広い知識から、人類や社会の福祉 増進について考察・判断することができる	1
		[D8] 異なる文化や伝統に関する知識をもって、多様な考え方を受け入れて判断することができる	1
	理工学部航空宇宙工学科(202304)	[A4] 人文科学、社会科学、自然科学に関する知識を習得し、専門的な活動に活用できる	1
		[A6] 航空宇宙分野の問題において、広い分野からの知識をもって問題を判断できる	1
	理工学部情報電子工学科(202304)	[A2] 多様な背景をもつ人々に対する理解や想像力を柔軟に育みにつけることができる	1
		[C6] 人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる	1
	理工学部バイオサイエンス学科(202304)	[A1] 専門的な知識にのみに偏らず、豊かな教養を身につけている（一般教養）	1
		[A2] あらゆる生命を大切にし、多様な生命との共存を意識して行動できる（生命倫理）	1
	医療技術学部柔道整復学科(202304)	[D16] 地域医療に貢献するために必要な行動を列挙できる	1
		[E20] 最新の柔道整復学情報の入手方法を述べる ことができる	1
	経済学部地域経済学科(202404)	[A5] 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を活用して社会を多角的に説明する	1
		[A1] 人文科学、社会科学、自然科学の幅広い知識から、人類や社会の福祉 増進について考察・判断することができる	1
	理工学部機械・精密システム工学科(202404)	[A4] 人文科学、社会科学、自然科学に関する知識を習得し、専門的な活動に活用できる	1
	理工学部情報電子工学科(202404)	[C6] 人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる	1
	理工学部バイオサイエンス学科	[A1] 専門的な知識にのみに偏らず、豊かな教養	1

	要件所属・要件年月／Course Name・Requested Month and Date	ディプロマポリシー、修得目標／Diploma Policy/Learning Outcome	DP値／DP Point
	(202404)	を身につけている（一般教養）	
	医療技術学部柔道整復学科(202404)	[E21] 幅広い教養を通して柔道整復師の意義を理解できる	1
	経済学部地域経済学科(202504)	[A5] 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を活用して社会を多角的に説明する	1
	理工学部総合理工学科機械・航空宇宙コース(202504)	[A1] 人文科学、社会科学、自然科学の幅広い知識から、人類や社会の福祉 増進について考察・判断することができる	1
	理工学部総合理工学科ロボティクス・AIコース(202504)	[B4] 人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる	1
	理工学部総合理工学科情報科学コース(202504)	[A2] 人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる	1
	理工学部総合理工学科環境バイオテクノロジーコース(202504)	[A1] 専門的な知識にのみに偏らず、豊かな教養を身につけている（一般教養）	1
	医療技術学部柔道整復学科(202504)	[E21] 幅広い教養を通して柔道整復師の意義を理解できる	1
授業の概要 ／Course Description	今日の社会は、さまざまな国籍の人々が私たちの周りに暮らしています。日本社会で暮らす人々の多様化も進んできています。異なる人のさまざまな考えや文化、価値観を積極的に受け入れ、理解することで、国際感覚があふれる人間に成長していくことが求められています。本講義では、こうした背景を念頭に置きながら、異文化とコミュニケーションの関係についてさまざまな視座から学びます。このような学びを通じて、自分自身のコミュニケーション能力を高めるだけでなく、異文化コミュニケーションに関する知識や能力などを身に付けられることを目指しています。また、授業では、プレゼンテーションおよびポスター発表を行うことがあります。		
授業の到達目標 ／Course Objectives	・異なる価値観や文化などに対して関心を持ち、それに関する幅広い知識を修得できるようにします。 ・多様な考えや文化などを理解し、受け入れることによって、国際感覚を身につけるようになります。 ・国内外で存在されている異文化そのものであることに気づき、コミュニケーション能力を高めるようになります。		
成績評価の方法および基準 ／Method of Evaluation	方法および基準 ／Method of Evaluation	レポート／Report(s) 50 % プレゼンテーション／Presentation 20 % リアクションペーパー／Reaction Paper 30 %	
	その他コメント ／Comments	100点満点で60点以上を合格とします。	
試験・課題に対するフィードバック方法 ／Method of Feedback on Exams and Assignments	フィードバック方法 ／Method of Feedback on Exams and Assignments	授業内で解説を行う／In-Class Feedback、試験やレポート等について添削し返却する／Returning Exams and Assignments with Feedback	
	その他コメント ／Comments		
授業形態 ／Course Style	講義／Lecture		
この授業におけるアクティブ・ラーニングを実現するための教育手法 ／Active Learning Method in Class	手法 ／Active Learning Method in Class	グループワーク／Group Work、ディスカッション、ディベート／Discussion, Debate、プレゼンテーション／Presentation	
	その他コメント ／Comments		
授業におけるICTの活用 ／Use of ICT in Class	自主学習支援（e-learning（LMS等）を活用）／Self-Study Support(Use of e-learning(LMS, etc.))		
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間 ／Study Required Outside of Class	・テキストの関連部分を事前に予習するようにしてください。また、授業中に学習した内容をまとめた後、自分の考えや意見などを述べ、感想文として提出してください。（時間の目安：合計2時間） ・そのほか、プレゼンテーションなどに向けての資料調査・作成や、期末レポートに向けての復習などに1学期合計30時間程度の時間を割いてください。		

教科書／参考資料（図書・映像） ／Textbooks and Reference Materials	教科書：『異文化理解入門』, ISBNコード（978-4-327-37734-2） 著者： 原沢伊都夫 発行所：研究社	
その他履修上の注意点 ／Notes	・LMSを使用します。 ・授業のスケジュールは、進み具合やクラスの状態等により、内容が変更になる場合があります。 ・授業中にプレゼンテーションやミニポスター発表を行いますので、それと関連する資料を調べたうえで、真剣に発表と質疑応答に取り組むことが求められています。 ・第14回のミニポスター発表については、感染症等の状況により、変更される可能性があります。	
実務経験のある教員による授業 ／Instructor's Practical Experience		
その他外部資料等	外部資料1 ／File1	
	外部資料2 ／File2	
	外部資料3 ／File3	
	その他コメント ／Comments	

授業計画詳細 / Course schedule

曜日・時限・組 / Day・Period・Class	担当教員 / Details of the instructor	学習内容・行動目標 / Content of study・Goal to act	備考 / Notes
第1回	林 春	オリエンテーションを行う。 担当者自己紹介、授業概要及び評価方法を説明する。 予習の内容は、授業中に指示する。	
第2回	林 春	文化交流史について概説する。	
第3回	林 春	文化の概念や特徴（その1）について学ぶ。	
第4回	林 春	文化の概念や特徴（その2）について学ぶ。	
第5回	林 春	異文化適応について学ぶ。	
第6回	林 春	異文化の認識について学ぶ。	
第7回	林 春	差別について学ぶ。	
第8回	林 春	世界の価値観について学ぶ。	
第9回	林 春	異文化トレーニングについて学ぶ。	
第10回	林 春	異文化受容について学ぶ。	
第11回	林 春	自分を知ることについて学ぶ。	
第12回	林 春	非言語コミュニケーションについて学ぶ。	
第13回	林 春	アサーティブ・コミュニケーションについて学ぶ。	
第14回	林 春	多文化共生社会実現に向けての取り組みを具体的に考える。	
第15回	林 春	学修内容の振り返り	